

平成27年9月17日



担当課	地域安全課 総合防災課
担当者	田尻 岡崎
電話	(073) 435 - 1005 (073) 435 - 1199
内線	5501 5017

和歌山市総合防災訓練の開催について

南海トラフ地震が発生した場合、地震による揺れや津波によって、全域的に被害が発生することが予想されます。

11月5日の津波防災の日を控え、一人の犠牲者もださない和歌山市を目指し、初の試みとして、災害が発生した場合どのような状況になるかを想像し、市民一人ひとりが自らすべき行動を再認識してもらい、現実に応じた避難訓練を実施します。この訓練を通して様々な課題を洗い出し、その内容を、津波の浸水が予想される地域で、地域の方とともに作成する、地区別の避難計画に反映させるなど、今後の防災行政に活かします。

- 日時 平成27年11月1日（日） 午前9時から
- 場所 和歌山市全域
ただし、津波発生時に浸水が予想される緊急避難場所は除く。
- 参加者 和歌山市民、和歌山市で勤務されている方、防災関係機関、和歌山市職員
- 内容 午前9時00分 防災行政無線から「緊急地震速報」を放送します。
身を守る安全確保行動を実施。
午前9時03分 防災行政無線や携帯電話（エリアメール、緊急速報メール）等から「大津波警報」発令に伴う避難の呼び掛けを実施します。
津波からの避難訓練を実施
避難訓練終了後 一部の緊急避難場所で災害対策活動訓練を実施

※ 市職員も、避難行動を開始した後に、地域防災計画に基づき、規定の場所に参集し、災害対策活動訓練を実施します。そのため、避難所によっては、避難所開設担当職員が市民の方より遅れて到着することも予想されます。そのようなときは各避難所で混乱が発生することがあるかと思いますが、今回の訓練の趣旨をご理解いただき、市民の皆様には、避難訓練にご参加くださいますようお願いいたします。

津波の特徴

- ・5、6時間から半日程度は繰り返し大きな津波が来襲する。
- ・津波は引き波からはじまるとは限らない。

浸水による避難の妨げ

- ・0.3m以上浸水すると避難行動がとれなくなる。
- ・1m以上の津波に巻き込まれた場合は、ほとんどの人が亡くなる。

津波浸水想定(南海トラフの巨大地震)



最大震度 : 7
マグニチュード : 9.1
津波による死者 : 15,800人
浸水面積 : 3,660ha
(17.5%)
津波到達時間 : 40分
(津波高1m)
最大津波高 : 8m
平均津波高 : 6m
和歌山県津波浸水想定(平成25年公表)

津波浸水想定区域

浸水深

- 5.0m~10.0m未満
- 3.0m~5.0m未満
- 2.0m~3.0m未満
- 1.0m~2.0m未満
- 0.3m~1.0m未満
- 0.0m~0.3m未満

